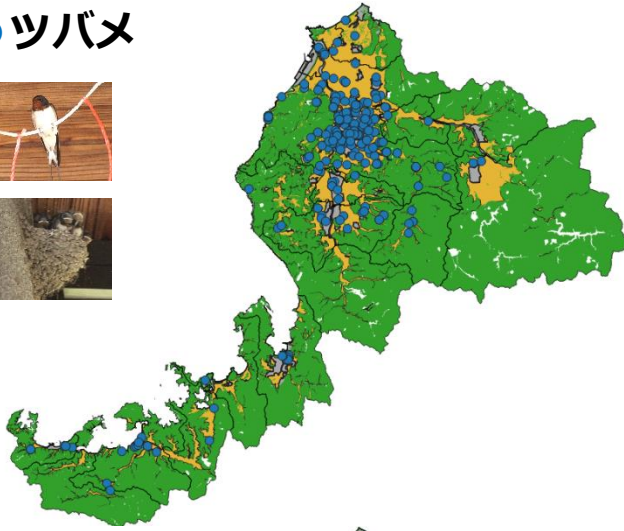


みんなでつくろう！ツバメの巣マップ 調査報告 概要版

報告いただいた写真
(一部抜粋)

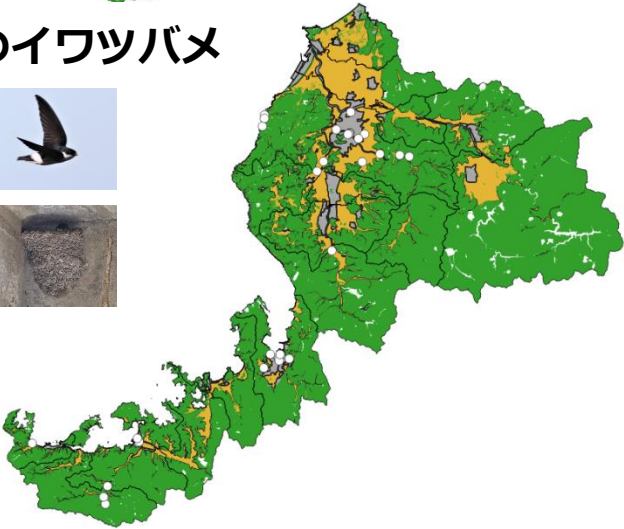
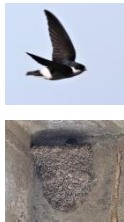
調査期間中(2022年5月1日~8月31日)に471件の巣情報の報告がありました。福井市内にとどまらず、県内各地から情報を報告いただき、不備データ等を除いた県内378件のデータを解析することで、県内のツバメ類の営巣状況が浮き彫りとなりました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

● ツバメ



- ・報告件数
281件(うち福井市191件)
- ・1か所の巣数
1巣が全体の約9割
- ・巣がつけられる環境
内陸の河川沿いの農地や住宅地に巣が多かった。

○ イワツバメ



- ・報告件数
33件(うち福井市17件)
- ・1か所の巣数
6~10巣作られていることが最も多かった。
- ・巣がつけられる環境
内陸の河川沿いに巣が多かった。

● コシアカツバメ



- ・報告件数
64件(うち福井市33件)
- ・1か所の巣数
1巣が最も多かったが、2~5巣以上作られていることも珍しくなかった。
- ・巣がつけられる環境
海岸部に多かった。



調査を終えて

- ・ツバメは住宅地や農地だけでなく、河川も餌場として重要であることが分かりました。
- ・イワツバメは情報が少なく、今後、特に海岸部や山間部での積極的な情報収集が必要です。
- ・コシアカツバメは海岸部だけでなく、内陸の河川沿いにも多くの巣があったのが特徴的でした。
- ・他県での同様の調査よりも報告数が多く、福井の方のツバメへの関心の高さが推察されました。